

景観・まちづくり大学 オンライン受講お申込み手順

STEP 1

右記QRコードを読み取り、「PassMarket」内の
景観・まちづくり大学の講座一覧ページにアクセス
<https://bit.ly/3qV4KaK>



※「PassMarket」トップページから、

「京都市景観・まちづくりセンター」で検索していただいても
アクセスできます。



申込受付中の講座一覧ページ(イメージ)

STEP 2

参加したい講座をクリックし、内容を確認

STEP 3

「チケットを申し込む」をクリック



チケット申込ボタン(イメージ)

STEP 4

案内に従って必要事項を記入し、申し込む。

※受講料は、お申込みの際に選択された方法にてお支払ください。

STEP 5

当日までに、お申込みの際に記入されたメールアドレスに「招待メール」
が届きます。講座開始の直前に、招待メールに記載されているURLにア
クセスしてください。

京都市景観・ まちづくりセンターの活動について

市民・企業・行政によるパートナーシップのまちづくりを推進し、京都らしい景観の保全・創造、質の高い住環境の形成などに取り組んでいます。住民の自主的な活動を支援し、まちづくり活動の拠点として、まちづくりに関する各種の相談に対して助言および情報提供を行っています。

まちづくり相談

地域の状況に応じたまちづくりの進め方について、活用できるまちづくりの制度や他の地域の取組事例などの様々な情報をご紹介しますほか、まちづくりの専門家の派遣や、活動費助成(一部)などの支援を行っています。

京町家なんでも相談

京町家の維持・継承に伴う様々な悩みや不安の解消に向けて、様々な情報をご紹介しますほか、専門的な内容については、大工・建築士・不動産事業者などの専門家と連携した支援を行っています。

賛助会員募集

当財団の活動趣旨に賛同していただける方を賛助会員として募集しています。会費は、まちづくり活動の支援、京町家の保全・再生に向けた取組、当財団の運営等に活用させていただきます。

年会費 個人1口 5,000円 / 団体1口 50,000円

特典 ニュースレター

メルマガ会員も募集中。ホームページからご登録いただけます。

※賛助会費は、当財団への寄附金として税法上の優遇措置が適用され、確定申告により所得税・法人税の控除が受けられます。

令和3年度 夏季

景観・まちづくり大学

景観・まちづくり大学は、
京都の景観・まちづくりについて
多様な視点から学び、考え、
実践へとつないでいくことのできる
人材を育むことを目指しています。
京都らしい美しい景観や、
住みよいまちを
未来に引き継いでいくために、
明日の京都のまちづくりを担う
皆さまの活動を応援します。

令和3年度
夏季
景観・
まちづくり
大学

夏季 セミナースケジュール

● 京のまちづくり史連続講座 **有料**

- 7月 9日(金) 近代の絵葉書から見る嵐山の景観特性
- 8月 6日(金) 建物疎開の実態と戦後への影響
- 9月24日(金) 近代の都市水害とその要因を考える

● 京町家再生セミナー **有料**

- 7月29日(木) 「町家」と「京町家」—その地域性と普遍性—
- 9月16日(木) 京町家の可能性
—すまいとして、交流の場として—

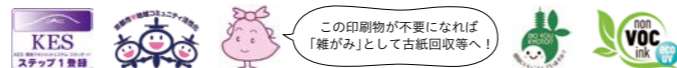
京都市景観・まちづくりセンターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止の措置として、センター入口での消毒液の設置、通常より広い座席間隔の確保、適切な換気などを行います。また、ご参加の皆さまには、マスクの着用をお願いいたします。

問合せ先 | 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」地下1階
TEL:075-354-8701 FAX:075-354-8704
Eメール:machi.info@hitomachi-kyoto.jp

URL <http://kyoto-machisen.jp/> まちセン 京都

- バス** 市バス 4,17,205号系統「河原町正面」下車
- 電車** 京阪電車:「清水五条」または「七条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線:「五条」下車 徒歩10分
- 車** 立体駐車場(最初の1時間410円、以降30分ごとに200円/45台程度)
※できるかぎり公共交通機関をご利用ください。



令和3年度 景観・まちづくり大学 夏季

京のまちづくり史連続講座 受講料等：1講座1,010円(学生500円)

まちづくり活動に関わる方、関心がある方、学んでいる方を対象に、京都のまちづくりに取り組むうえでの基礎を体系的に学ぶ全9回の連続講座です。

京都のまちがどのように成り立ち現在に至ったか、様々な時代背景の中での人々の営みや、その中で育まれたまちづくりの知恵を学び、見識を深めることで、これからの京都の景観・まちづくりに役立ちます。

開催日	テーマ	講師	開催日	テーマ	講師
5月28日	京都・イタリアの観光史	宗田 好史氏 (京都府立大学教授) 終了	11月26日	京料理と「菜園都市」京都	並松 信久氏(京都産業大学教授)
6月25日	伏見市の京都市編入	小野 芳朗氏 (京都工芸繊維大学理事・副学長)	12月10日	近代四条通の商業集積	渡邊 秀一氏(佛教大学教授)
7月 9日	絵葉書から見る嵐山	深町 加津枝氏 (京都大学大学院准教授)	1月28日	1960年代の京都市総合計画	阿部 大輔氏(龍谷大学教授)
8月 6日	建物疎開	川口 朋子氏(京都大学特定助教)	2月25日	デジタル資料と町並み	矢野 桂司氏(立命館大学教授)
9月24日	近代の都市水害	谷端 郷氏(北海学園大学講師)	※10月以降の講座のお申し込みは、9月下旬以降の受付となります。		

近代の絵葉書から見る嵐山の景観特性

申込受付開始:3月29日
申込受付期限:7月 6日

定員 50名
申込多数の場合は抽選

講師 深町 加津枝氏
(京都大学大学院 地球環境学堂 准教授)

日時 7月9日 19:00~20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催

※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

各地の風光明媚な景色を写した絵葉書は、多くの人に親しまれてきました。絵葉書から得られる情報は写った対象物のみならず、撮影場所も重要な要素であり、それらは撮った人の当時の価値観を映すものだと考えられます。

本講座では嵐山を流れる大堰川を写した明治後期~戦前に印刷された絵葉書から、当時の嵐山の人々が目指した景観像、そしてこれからの嵐山のあるべき姿を探ります。

建物疎開の実態と戦後への影響

申込受付開始:6月17日
申込受付期限:8月 3日

定員 50名
申込多数の場合は抽選

講師 川口 朋子氏
(京都大学 大学文書館 特定助教)

日時 8月6日 19:00~20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催

※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

アジア・太平洋戦争末期には、空襲から都市を守るために京都を含む国内各地で建物疎開が行われました。これにより京都では堀川通や五条通が現在の幅まで広げられ、町並みは大きく変わりました。

本講座では、戦時下の建物疎開とは何だったのか、主体者とそれに応じざるを得なかった住民の側、両方の立場を資料から読み解き、疎開者の心情や補償の内容、戦後の都市計画への影響について学びます。また上記を踏まえ、街路形成事業のあるべき姿を考えます。

近代の都市水害とその要因を考える

申込受付開始:6月17日
申込受付期限:9月22日

定員 50名
申込多数の場合は抽選

講師 谷端 郷氏
(北海学園大学 人文学部 日本文化学科 講師)

日時 9月24日 19:00~20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催

※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

市内を鴨川や桂川などの河川が流れる京都では、古くから水害に悩まされてきました。その実態を振り返る作業は、今後の対策を考えていく上で欠かせません。

本講座では、過去の水害の中で特に1930年代に発生した京都の大水害に注目し、当時の被害を地理的な要因と都市の拡大による社会的な要因から分析します。また、同時期の大阪市、神戸市における水害の被害状況と比較し、地域による都市水害の違いについて考えます。

京町家再生セミナー 受講料等：1講座500円

京町家の所有者や居住者、具体的に京町家の居住や活用を検討している方向けのセミナーです。年間を通して、京町家の歴史や文化、改修の手法、相続、資金調達、活用方法など、今すぐ役立つ京町家の保全・再生に関する様々な専門知識をわかりやすく学びます。

「町家」と「京町家」—その地域性と普遍性—

申込受付開始:6月17日
申込受付期限:7月26日

定員 50名
申込多数の場合は抽選

講師 大場 修氏
(立命館大学 衣笠総合研究機構 教授)

日時 7月29日 18:30~20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催

※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

日本全国に広がる伝統的な都市住宅である「町家」。気候や風土などの様々な条件のもと、その形式は地方によって異なります。

京町家にみられる洗練された形式とその普遍性は、他都市の町家との比較によってこそ浮かび上がってきます。そこから見える京町家の無二の特徴とは?都市住宅の文脈から京町家の本質に迫ります。

京町家の可能性 —すまいとして、交流の場として—

申込受付開始:6月17日
申込受付期限:9月13日

定員 50名
申込多数の場合は抽選

講師 魚谷 繁礼氏
(株式会社魚谷繁礼建築研究所 代表、
京都工芸繊維大学 特任教授)

日時 9月16日 18:30~20:30

会場 オンライン(ZOOM)開催

※オンラインでの参加が難しい方は、当センター内会場(ワークショップルーム)にて受講いただけます。(10名限定)

京町家は、伝統軸組構法で造られ、現代建築とは異なる特性や魅力を持つ都市住宅です。その特性を活かしながら改修することで、伝統を受け継ぎながら、現代生活に必要な役割や機能を持たせることができます。

京町家の改修設計に精通した建築士の講師に、自ら手掛けた改修事例を紹介しながら、京町家の可能性を大きく広げる改修の手法についてお話しいただきます。

申込方法

①オンライン(ZOOM)受講される方

右記の2次元コードよりお申し込みください。詳しくは裏表紙をご覧ください。

<https://bit.ly/3qV4KaK>



PassMarketのHPへリンクします

②当センター内会場で受講される方

下記連絡先よりお申し込みください。

申込先 京都市景観・まちづくりセンター

TEL 075-354-8701 **FAX** 075-354-8704

Eメール machi.info@hitomachi-kyoto.jp

受付時間：月~土 9:00 ~ 21:30 / 日・祝 9:00~17:00

休館日：毎月第3火曜日(祝日にあたる場合は翌日)

※電話、FAXのおかけ間違いにご注意ください。

※申込の際、**セミナー名、氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレス**をお知らせください。

※申込多数により抽選の結果、参加不可の際に当センターから連絡いたします。

※**申込後のキャンセルは、参加方法によって手続きが異なります。詳細は当センターまでお問い合わせください。**

申込受付期限後でも、定員に達していないセミナーは受講を受け付けますので、

当センターまでお問い合わせください。

※オンライン(ZOOM)受講される方は、利用環境をご自身でご用意ください。

CPD：景観・まちづくり大学は、建築士会CPD制度認定プログラムです。建築士等、専門家の方々もぜひご参加ください。

問合せ先 京都市景観・まちづくりセンター

共催 京都市都市計画局まち再生・創造推進室